

AGUD・P Library Letter

平成30年 2月利用状況

平成30年3月1日

(1)開館日数及び入館者数

(昼間・9:00～17:30、夜間・17:30～20:00)

	開館日数		入館者数		
	昼間	夜間	昼間	夜間	合計
楠元	26	19	7,736	843	8,579
末盛分室	22	19	1,405	216	1,621
合計	—————		9,141	1,059	10,200

学外利用者(登録なし) :	楠元	7
	末盛分室	4

(2)帯出人数

	教職員	学生	その他登録者	合計
人数	68	192	12	272

帯出人数「学生」のうち :人

歯学部学生	薬学部学生	短大生
116	27	10

(3)帯出冊数

	教職員	学生	その他登録者	合計
冊数	153	338	32	523

(4)-1文献相互貸借依頼件数 (4)-2図書・雑誌貸借依頼件数

	件数			件数	
学外受付	64	(39)	学外貸出	0	(0)
学外依頼	26	(2)	学外借受	0	(0)
合計	90	(41)	合計	0	(0)

※()内数字は大学図書館以外

(4)-3CAN図書貸借依頼件数

	件数
学外貸出	0
学外借受	1
合計	1

(4)-4学内図書貸借依頼件数

	件数
学内貸出	0
学内借受	3
合計	3

冬季五輪最多の13個のメダルを獲得し、日本中に興奮をもたらしたピョンチャンオリンピックも無事に幕を下ろしました。

男子フィギュアの羽生結弦選手の66年ぶりの五輪連覇や、カーリング界初のメダル獲得など話題に事欠きませんでした。私が一番心に残っているのは、女子ジャンプ・ノーマルヒルで銅メダルを獲得した高梨沙羅選手を出迎えた同種目9位の伊藤有希選手です。自身は不利な追い風で悔しい結果に終わった中、実力を発揮できた仲間に対してすぐさま駆け寄り、「おめでとう」と抱きしめられるその精神力。なかなか出来ることではないと思います。メダルも素晴らしいけれど、それを支える周囲の力も素晴らしいなと感じることが出来たピョンチャンオリンピックでした。